

各部の清掃

搬送路、センサーが汚れていると、製品の作動不良の原因となることがあります。

必ず月に1回は、各部の清掃を行ってください。

エアダスターで清掃される場合には、当社推奨のエアダスターをご使用ください。エアダスターについては最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にお問い合わせください。

⚠ 警告	内部を清掃するときは、必ず電源を切ってください。 感電およびケガの原因になることがあります。
	製品の清掃には、可燃性のスプレーなどを使用しないでください。スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になることがあります。
⚠ 注意	製品の清掃には、中性洗剤およびベンジン、シンナー、コンパウンドワックスなどを使用しないでください。製品の変色や破損、作動不良の原因になることがあります。
	センサーをハケなどで清掃するときは、センサー部分にハケの毛先以外の場所が当たらないように注意してください。 センサーに衝撃を与えると、故障の原因になることがあります。
	清掃道具の汚損・破損が発生した場合は、部品交換（購入）してください。 購入については、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店へご相談ください。



注意

収納庫内部を清掃するときは、全回収で装置内のお金を回収してください。収納部扉を開くと在高不確定となります。



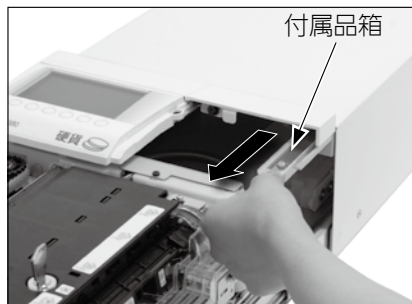
参考

図中の ➡ は、センサーを示しています。

清掃には付属品箱に入っている道具および綿棒などを使用してください。

※付属品箱は RT-380 の装置内にあります。

※綿棒は RAD-380 の付属品です。



必ず当社指定綿棒を使用してください。

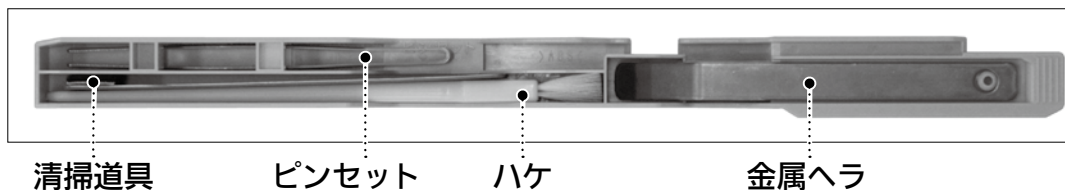
[指定綿棒]

日本綿棒株式会社

紙細軸・工業用綿棒 / P1503E

200 本入り

※指定外の綿棒を使用すると、綿球部が外れ搬送路内に残る可能性がありますので使用しないでください。



清掃道具

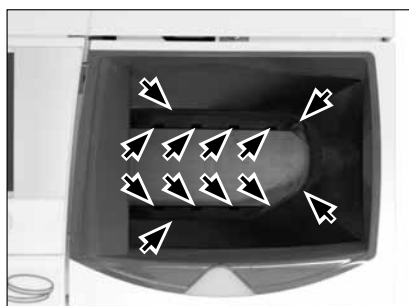
ピンセット

ハケ

金属ヘラ

■ RT-380 投入口センサーの清掃

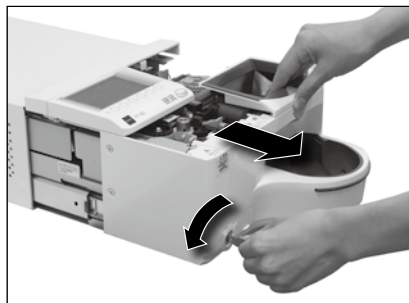
- 1** 投入口センサー（12カ所）を付属のハケで清掃します



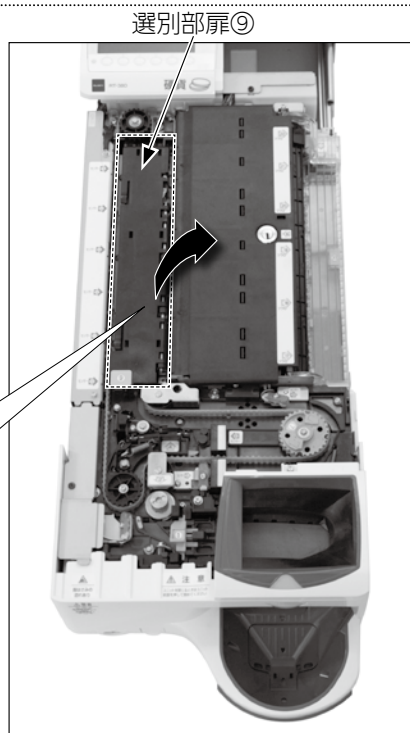
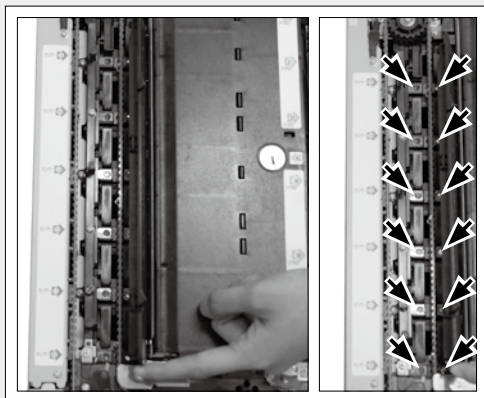
次ページへ ▶▶▶

■ RT-380 搬送路・搬送路センサーの清掃

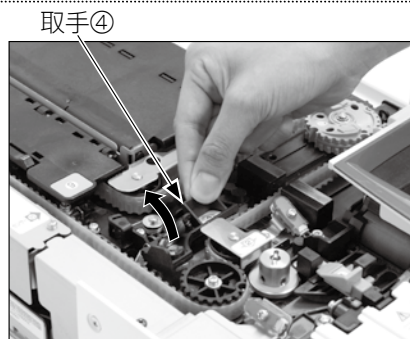
- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します



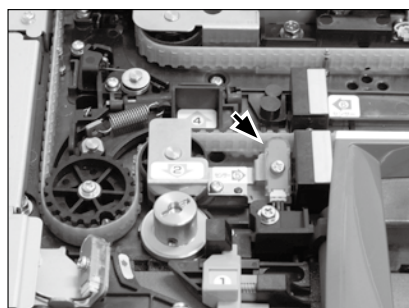
- 2 選別部扉⑨を開き、搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます
センサー⑩～⑮表示の矢印の先にあるレンズ（12カ所）を付属のハケで清掃します



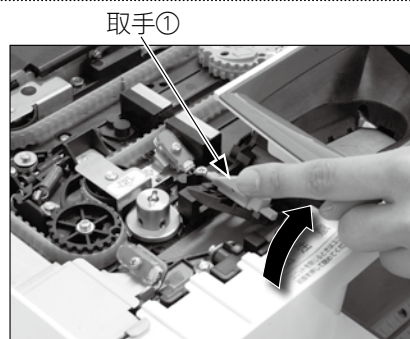
- 3** 取手④を開き、搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます



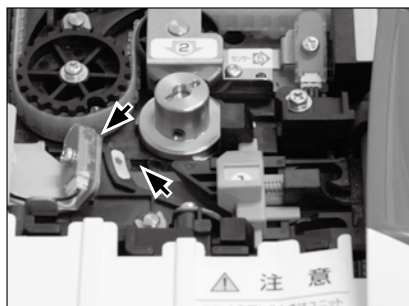
- 4** センサー⑤表示の矢印の先にあるレンズ（上下合わせて2カ所）を付属のハケで清掃します



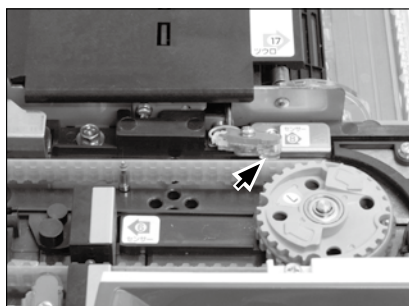
- 5** 取手①を開き、搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます



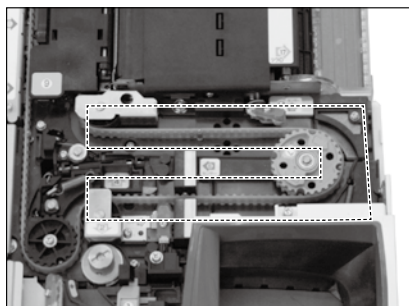
- 6** センサー③表示の矢印の先にあるレンズ（2カ所）を付属のハケで清掃します



- 7** センサー⑧表示の矢印の先にあるレンズ（上下合わせて2カ所）を付属のハケで清掃します



- 8** 搬送路にゴミ・粘着物などが付着している場合は、付属のハケや柔らかい布で付着物を取り除きます

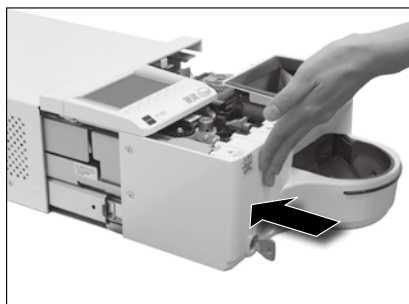


- 9** 清掃終了後、装置内部を閉じます



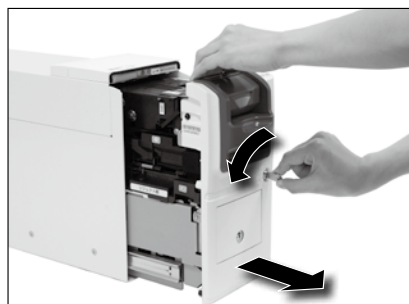
参照

装置内部の閉じかたについては、[P.34](#)を参照してください。

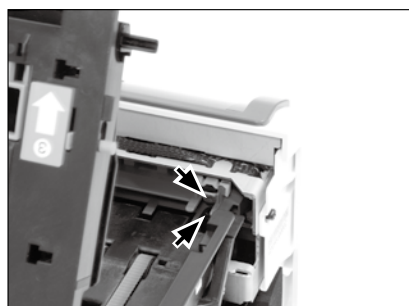


■ RAD-380 挿入口センサーの清掃

- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します



- 2 繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）③を開いて、挿入口センサー（2カ所）を付属のハケで清掃します

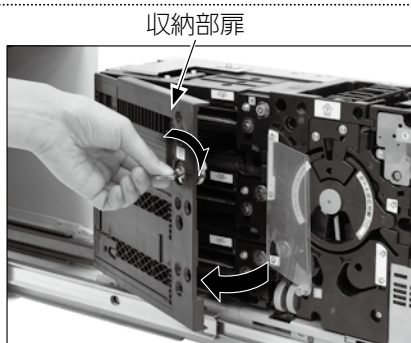


■ RAD-380 収納部センサーの清掃

- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します



- 2 収納部錠を解錠し、収納部扉を開きます



- 3 センサー上に異物がないか確認し、あれば付属のハケやピンセットで取り除きます



- 4 センサー（6カ所）を付属のハケで清掃します



収納庫内部を清掃するときは、全回収で装置内のお金を回収してください。収納部扉を開くと在高不確定となります。

■ RAD-380 搬送路・識別センサーの清掃

- 1 モード切り替え鍵を「保守」位置に合わせた状態で、装置内部を最後まで引き出します

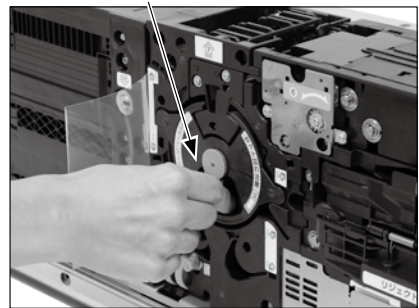


- 2 取り外しガイドを外し、搬送路に異物があれば付属の異物除去シートで取り除きます

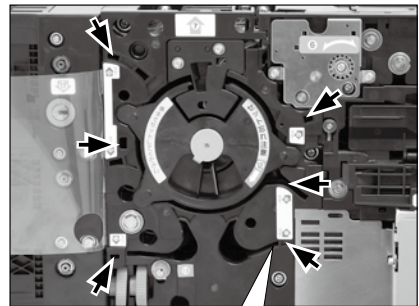


異物除去シートの使いかたについては P.152 を参照してください。

取り外しガイド



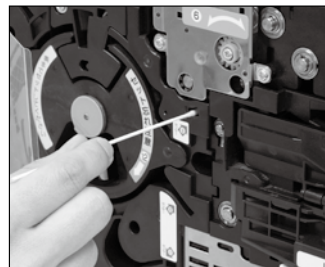
- 3 付属の綿棒で、搬送路センサー（6カ所）を清掃します



⚠ 注意

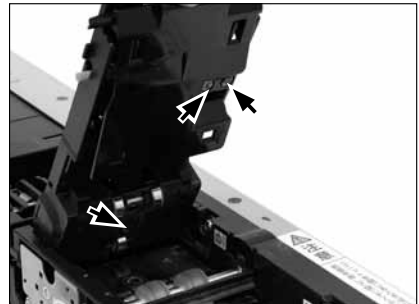
センサーを綿棒などで清掃するときは、センサー部分に綿球以外の所が当たらないように注意してください。

センサーに衝撃を与えると、故障の原因になることがあります。

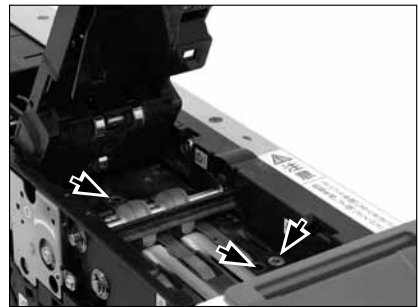


- 4** 繰り出し部扉（繰り出し開閉レバー）
③、搬送路扉（搬送開閉レバー）⑦を
開き、搬送路と識別部のセンサー（14
カ所）を付属のハケで清掃します

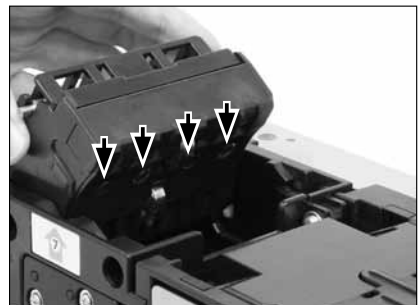
搬送路上側



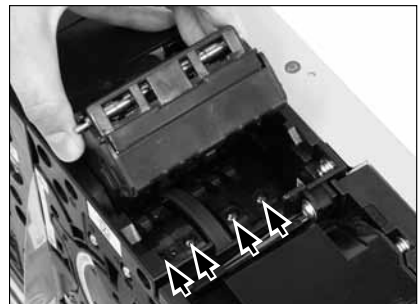
搬送路下側



識別部上側



識別部下側



■ RAD-380 リジェクト部センサーの清掃

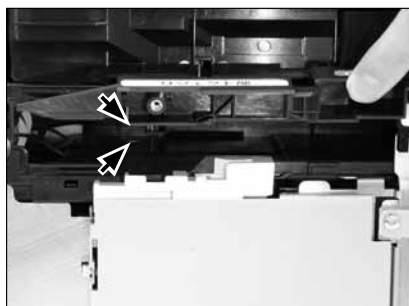
1 リジェクト部を開きます



参照

リジェクト部の開きかたの詳細については、[P.39](#)を参照してください。

2 リジェクト部のセンサー（2カ所）を付属のハケで清掃します



■ RAD-380 払い出し部センサーの清掃

1 払い出し部を開きます



参照

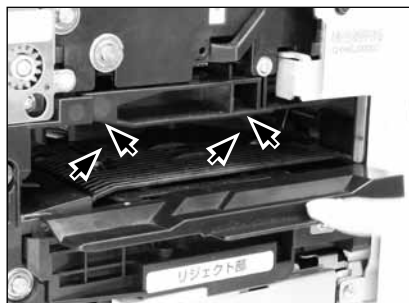
払い出し部の開きかたの詳細については、[P.40](#)を参照してください。

2 払い出し部のセンサー（4カ所）を付属のハケで清掃します



注意

センサーの清掃時、誤ってベルトを外さないように注意してください。

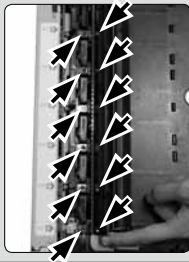


センサー配置図 /RT-380

各センサーの位置と個数は以下のとおりです。

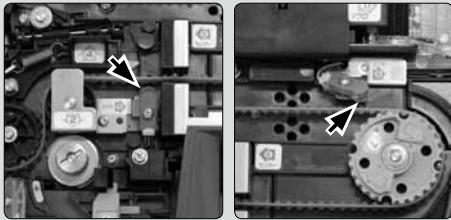
■選別部

- PSC10・・・2カ所
- PSC11・・・2カ所
- PSC12・・・2カ所
- PSC13・・・2カ所
- PSC14・・・2カ所
- PSC15・・・2カ所



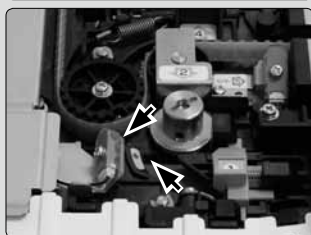
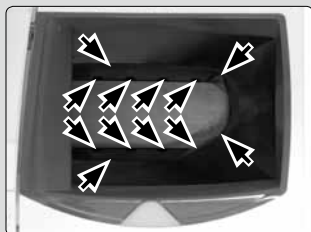
■入金搬送路

- PSC5・・・2カ所
- PSC9・・・2カ所

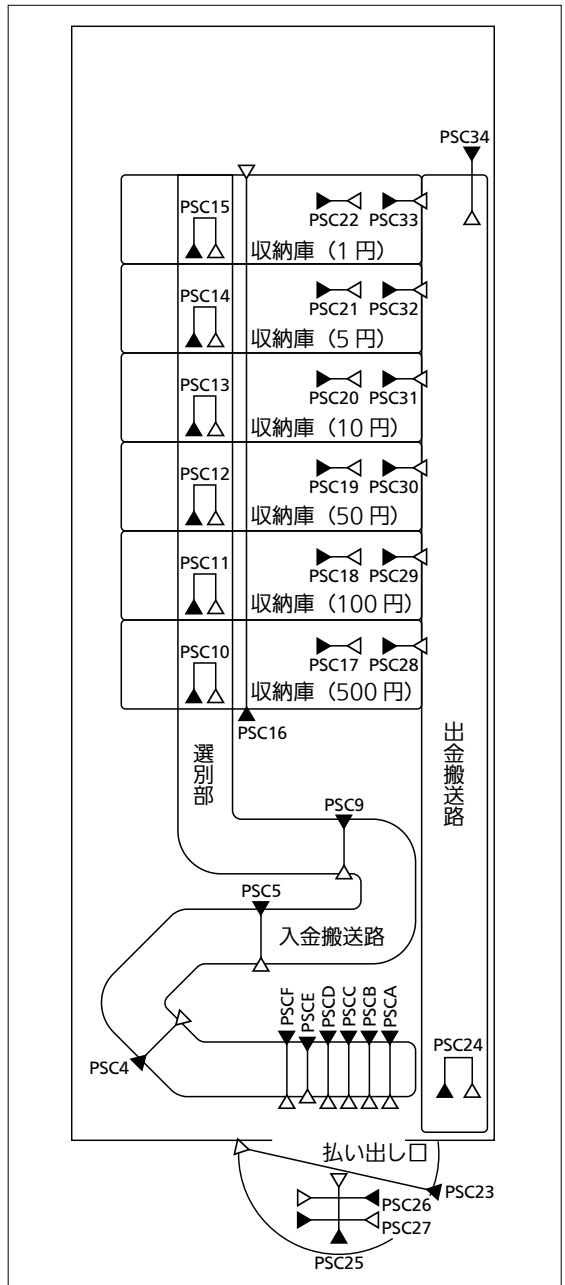


■投入口

- PSCA・・・2カ所
- PSCB・・・2カ所
- PSCC・・・2カ所
- PSCD・・・2カ所
- PSCE・・・2カ所
- PSCF・・・2カ所
- PSC4・・・2カ所

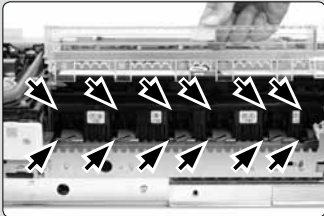


▽：投光側 ▼：受光側

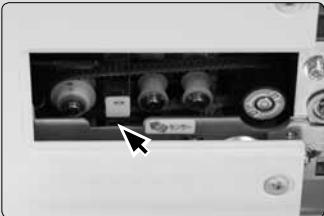


■収納庫

PSC17・・・2カ所	PSC28・・・2カ所
PSC18・・・2カ所	PSC29・・・2カ所
PSC19・・・2カ所	PSC30・・・2カ所
PSC20・・・2カ所	PSC31・・・2カ所
PSC21・・・2カ所	PSC32・・・2カ所
PSC22・・・2カ所	PSC33・・・2カ所



■出金搬送路
PSC24・・・2カ所



センサー配置図 / RAD-380

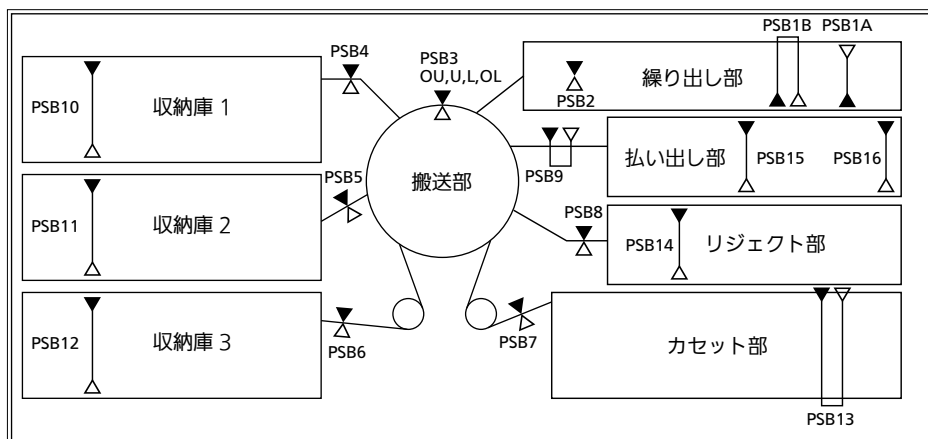
各センサーの位置と個数は以下のとおりです。

▽ : 投光側 ▼ : 受光側

■ 収納部
 PSB10 : 2カ所
 PSB11 : 2カ所
 PSB12 : 2カ所



■ 挿入口
 PSB1A : 2カ所

■ カセット部
 PSB13 : 2カ所



■ 払い出し部
 PSB15 : 2カ所
 PSB16 : 2カ所

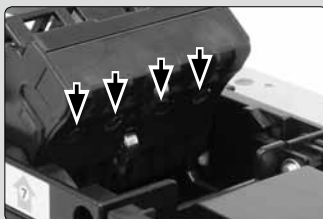


■ リジェクト部
 PSB14 : 2カ所



■識別部

- PSB30U : 2カ所
- PSB3U : 2カ所
- PSB3L : 2カ所
- PSB3OL : 2カ所



■繰り出し部

- PSB2 : 2カ所
- PSB1B : 4カ所

